

平成 24 年 10 月 1 日現在の保育所待機児童数について

平成 24 年 10 月 1 日の待機児童数は、前年比で 1,161 人減少（約 79%減）し、**302 人**となりました。

また、24 年 4 月 1 日の待機児童数と比較すると、年度途中の申込の増加により、123 人増加（約 69%増）となりました。

1 待機児童数等の状況

(1) 待機児童数

(単位：人)

区分	23 年 4 月	23 年 10 月 (a)	24 年 4 月	24 年 10 月 (b)	差し引き (b-a)
就学前児童数	192,861	192,789	191,770	191,501	▲1,288
保育所申込者数(A)	44,094	46,720	45,707	48,795	2,075
入所児童数(B)	40,705	41,665	43,332	44,877	3,212
入所保留児童数(C)=(A)-(B)	3,389	5,055	2,375	3,918	▲1,137
横浜保育室等入所数(D)	1,136	1,795	1,117	1,551	▲244
横浜保育室	1,028	1,427	965	1,233	▲194
家庭的保育事業	52	110	59	86	▲24
幼稚園預かり保育	23	27	5	12	▲15
事業所内保育	0	0	19	34	34
一時保育・乳幼児一時預かり施設	33	231	69	186	▲45
育休関係(E) (*)	277	733	186	668	▲65
主に自宅で求職活動されている方(F) (*)	—	—	213	250	250
特定保育所のみ申込者など(G) (*)	1,005	1,064	680	1,147	83
待機児童数 (H)=(C)-[(D)+(E)+(F)+(G)]	971	1,463	179	302	▲1,161

(*) 補足説明

- ・育休関係：育休を取得されている方
- ・主に自宅で求職活動されている方：ご自身等でお子さんをみながら、インターネットなどを利用し、在宅で職を探している方
- ・特定保育園のみの申込者など：1 か所しか申し込んでいない方、2 か所以上申し込んだ方で内定した保育所があるにもかかわらず、第 1 希望等の保育所しか入園を望んでいない方など

※保留児童の方も待機児童の方も入所選考の対象であることに違いはなく、選考にあたり優劣をつけるものではありません。

2 待機児童の状況

(1) 年齢別の状況

- ・ 0～2歳の低年齢児で、全体の約84%を占めています。

(単位：人)

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
24年10月(a)	115	107	33	40	7	0	302
24年4月	9	96	27	40	7	0	179
23年10月(b)	368	588	335	151	19	2	1,463
23年4月	34	538	241	141	14	3	971
増減(a-b)	▲253	▲481	▲302	▲111	▲12	▲2	▲1,161

※年度途中で保育所の空きがない場合は、ランクの審査決定を行わないため、ランク別状況は把握していません。

(2) 定員外入所の状況

- ・ 定員外入所の状況は、321園、2,988人でした。
- ・ 24年4月比では、49園、634人増となっています。
- ・ 24年4月比で増加した634人の約67.5%が乳児(0～1歳)の受入枠の増となっています。

	H24. 4. 1(a)	H24. 10. 1(b)	差引 (b-a)
箇所数	272 園	321 園	49 園
定員外入所数	2,354 人	2,988 人	634 人
乳児(0～1歳)	393 人	821 人	428 人
幼児(2～5歳)	1,961 人	2,167 人	206 人

(3) 定員割れの状況

- ・ 園全体の総定員が定員割れしている状況は、114園、814人でした。
- ・ 814人のうち、732人、約89.9%が幼児(2～5歳)の枠となっています。
- ・ 24年4月比では、65園、596人減となっています。

	H24. 4. 1(a)	H24. 10. 1(b)	差引 (b-a)
箇所数	179 園	114 園	▲65 園
空き定員数	1,410 人	814 人	▲596 人
乳児(0～1歳)	471 人	82 人	▲389 人
幼児(2～5歳)	939 人	732 人	▲207 人

※新設保育所の4・5歳児枠については、新規入所を希望する方がほとんどありませんが、2歳、3歳の在籍児童が進級後には埋まる枠であるため、開所後2年間は定員割れの算定から除いています。

(H23. 4. 1～24. 10. 1に開所した園が該当)

(4) 区別の状況

- ・待機児童が一番多い区は港北区で91人、一番少ない区は瀬谷区で0人です。
- ・前年比では、全ての区で減少しており、最も減少したのは鶴見区と南区で141人減です。

区名	平成23年10月1日現在				平成24年10月1日現在				待機児童 前年比 (人)
	認可 施設数 (か所)	認可 定員数 (人)	入所 児童数 (人)	待機 児童数 (人)	認可 施設数 (か所)	認可 定員数 (人)	入所 児童数 (人)	待機 児童数 (人)	
鶴見	33	3,210	3,465	209	38	3,640	3,767	68	▲ 141
神奈川	26	2,448	2,663	105	28	2,628	2,811	5	▲ 100
西	11	817	773	11	11	767	772	1	▲ 10
中	15	1,103	1,189	68	19	1,386	1,424	4	▲ 64
南	22	1,825	1,891	146	23	1,928	2,026	5	▲ 141
港南	29	2,616	2,746	59	34	2,959	3,057	4	▲ 55
保土ヶ谷	25	2,232	2,221	62	27	2,415	2,405	13	▲ 49
旭	26	2,381	2,529	88	31	2,697	2,786	11	▲ 77
磯子	19	1,673	1,758	53	20	1,781	1,835	9	▲ 44
金沢	27	2,270	2,516	57	29	2,375	2,609	4	▲ 53
港北	43	3,774	3,909	209	49	4,299	4,328	91	▲ 118
緑	28	2,296	2,307	69	32	2,598	2,568	11	▲ 58
青葉	36	3,054	2,990	113	41	3,338	3,181	30	▲ 83
都筑	32	2,741	2,776	46	35	2,993	3,026	6	▲ 40
戸塚	37	3,199	3,252	95	41	3,456	3,497	16	▲ 79
栄	12	1,164	1,265	10	12	1,176	1,275	8	▲ 2
泉	24	2,182	2,225	61	24	2,187	2,259	16	▲ 45
瀬谷	17	1,192	1,190	2	17	1,249	1,251	0	▲ 2
計	462	40,177	41,665	1,463	511	43,872	44,877	302	▲ 1,161

3 25年4月に向けた24年度保育所待機児童解消への取組状況

(1) 受入枠の拡大をはかる取組

取組		受入枠の拡大	
		事業計画	進ちよく状況(H24.12.1 現在)
I 保育所の新設等による定員増			
	認可保育所整備等	3,836 人	5,110 人 (うち、自主財源整備 1064 人) ・4/1 開所予定園数 67 か所
	横浜保育室整備費助成	150 人	125 人 (追加募集実施中)
	家庭保育事業	70 人	113 人 (3次募集実施中)
	NPO などを活用した 家庭的保育事業		
II 既存保育資源の有効活用			
	市立保育所の更なる活用	受入枠増 288 人	受入枠増 241 人程度
	認可保育所の更なる活用	受入枠増 150 人	(随時募集中)
	私立幼稚園預かり保育の拡充	314 人	105 人 (随時募集中)
III 多様な働き方への対応			
	一時預かりの拡充		
	乳幼児一時預かり	60 人	75 人
	広場を活用した一時預かり	15 人	3 人
	一時保育室整備費助成	30 人	<随時募集中>
	事業所内保育整備費・運営費助成	9 人	9 人
合 計		4,922 人	5,781 人以上

(2) 保育士の確保

保育施設の急速な整備に伴い、保育士の確保が重要な課題となっています。私立園長会・ハローワーク・県社協等関係団体と連携し、就職説明会や就労支援講座・就職面接会を開催しています。24年度の就労支援講座は、全6回中4回がすでに終了しており、今後、1月19日、2月28日の残り2回を開催します。